

自殺のススメ 2

maemuke

はじめに

下記に記載したサイトの内容を読んで共感できる人は自殺する必要のない方です。
精一杯ご自分の人生を歩んでください。

<http://yusb.net/man/1168.html>

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~spbook/index.htm>

<http://jisatsudame.com/>

Q.自殺をしたら親不孝だからダメって言うけどどうなの？

A.一部肯定、一部否定です。

まず、親御さんとの関係が良好かどうかが問題になります。

親御さんとの関係が良好である場合、自殺を考えていることを打ち明ければ、一緒に自殺回避に向けて解決策を考えてくれるでしょうから、自殺するまで至らないように思います。

しかし、一緒に考えてもらったにもかかわらず、それでも自殺を選ぶというのであれば、それは親御さんの努力を無にする行為なので、非難されてしかるべきです。

では、親御さんとの関係がよくない場合はどうでしょうか？

自殺したいほどの悩みを打ち明けられない、打ち明けたとしても悩みを否定される。そんな親御さんのためにどうして生きなければならないのでしょうか。

また、顔を合わせればけんかをする、お互いがお互いを憎んでいる。

こんな状態で自殺をすれば、清々されるのがオチです。

清々されるのであれば、積極的に自殺をしてもいいでしょう。

あるいは親御さんを受取人にして保険をかけて自殺すれば、「保険金が貰える！」とぬか喜びをさせる嫌がらせができるかもしれません。

(参考：多くの生命保険契約では自殺の場合、保険金がありません。)

ラッシュ時の電車に飛び込み、家族に損害賠償請求がいくように悪意を持って自殺をするのもいいでしょう。

Q.自殺をしたらいろんな人に迷惑をかけるって言うけどどうなの？

A.自殺でなくても死ねば色んな人に迷惑をかけます。

自殺だけが特別なものではありません。

例えば、ニートが自室内で病死していたとしましょう。

この場合、事件性がないか警察に調査されることになります。自殺をしていた場合も同じで、病死だろうと自殺だろうと家族が警察から事情聴取されることになるので、迷惑度合いは大して変わりません。

他の例で考えてみましょう。

ある人が心筋梗塞で急死しました。この場合、遺族は突発的に葬式代の出費を強いられますし、相続税の納付のために遺産がどれくらいあるのかきちんと調べ上げなければなりません。

では、葬式代もきちんと用意し、遺産がどこにどのくらいあるのかきちんと資料にし、準備万端の状態ですべて自殺をした人と比べた場合、どちらが迷惑でないでしょうか。

後者の方が迷惑ではないですよ。

自殺をする場合はきちんと事前準備をしましょう。

http://darknesx.web.fc2.com/Head/kubi_05.html

(上記のサイトは、事前準備の参考になります。)

自殺がいろんな人に迷惑をかけるからダメなんてほざく人間は、こういったことを全く知らないのです。まともに相手しないほうがいいでしょう。

Q.キリスト教では自殺は禁止されています

A.キリスト教の経典である聖書には自殺を禁止する内容はありません。

そのことはドイツの哲学者ショウペンハウエル（ショーペンハウアー）が『自殺について』という論文の中で「旧約聖書にも新約聖書にも、自殺に関する何らの禁令も、否それを決定的に非認するような何らの言葉さえも見出されえない」と述べておりますし、関西学院大学名誉教授の船本弘毅氏が著書『聖書によむ「人生の歩み」上』（NHK出版）で「十戒や聖書には、「死んではならない」という戒めはない」と述べております。

元々の教えにないものをどうして信じるのですか？

また下記のサイトで、「キリスト教と自死」というテーマで自殺について語られていますので参考にしてください。

<http://www.ab.auone-net.jp/~kenri/report3.html>

Q.仏教では自殺は禁止されています

A.仏典に自殺を禁止する記載はありません。

浄土真宗本願寺派 教学伝道研究センターが、原始仏典と大乘仏典にさかのぼり、自死（自殺）に関連する仏典の記載、600箇所余りを調査して出した見解は

『釈尊は自殺について価値判断していない。仏典は、ぎりぎりのところまで「生きていてほしい」と呼びかける一方、自殺そのものについては、良いとも悪いとも語っていない。釈尊の時代には、正面から自殺の問題に向き合っていた。是非論ではなく、当事者の苦しみを受け入れていくことこそがテーマとされていた。』

ということです。

（上記の内容については、下記サイトから引用）

<http://www.ab.auone-net.jp/~kenri/report3.html>

Q.シルバーバーチが自殺者には罰が与えられると述べています

A.まず、このシルバーバーチなる靈的存在が本当にいるのでしょうか。

私が靈的存在として聞いたことのあるものは、シルバーバーチとエル・カンターレです。

(※エル・カンターレは大川隆法氏が主宰する幸福の科学の本尊です。)

さて、どちらも靈的な存在として人間に向けて多くの言葉を発していますがその内容は一緒ではありません。

シルバーバーチよりもエル・カンターレの方が高位の靈的存在かもしれないし、逆かもしれない。あるいはどちらかが偽者で、本当は両方偽者かもしれない。

この証明をすることは誰にもできませんよね。

だったら、**靈的存在とは何ぞや?**ということになるわけです。

とたんに靈的存在なるものが胡散臭いものに成り果てました。

普通の神経をしていたら、こんな訳の分からないものに「自殺者には罰が与えられる」なんて言われて「そうですね」なんて納得できますか？

少なくとも私には無理です。

私に言わせれば、このシルバーバーチの靈言が胡散臭い代物です。

まずは「シルバーバーチは語る 7章 神とは何か」から大靈 (=神) とはどのような存在であるのかを抜粋して引用します。(引用元: <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~spbook/sb-teachings/sb-teachings-07.htm>)

- ・大靈は万物の生命の中に内在しております。生命の全てが大靈であると言ってもよろしい。
- ・大靈とは法則です、摂理です。それが全てを支配しています。摂理に関わりなく生じるものは何一つありません。
- ・大靈は摂理であり、その摂理は完べきです。
- ・全ては大靈の法則の働きによって生じているのです。
- ・人間の一人一人に、靈性の進化の程度に応じてそれ相応の自由意志が与えられているということです。靈的段階を高く上れば上るほど、自由意志を行使できる範囲が広がります。つまり現在のあなたは、靈的に言えばそこまでが限界ということです。

さて、上記の言葉を踏まえていただいた上で「シルバーバーチの靈訓」の自殺に関する記述を一部抜粋します。(引用元: <http://jisatsudame.com/archives/21898127.html>)

- ・あくまでも摂理に従って寿命を完(まっとう)しなければなりません。神の摂理は常にその働きが完璧だからです。完全な愛によって、つまり全存在に宿り全存在を通じて働いている神の意志によって支配されているからです。その摂理の働きに干渉する権利は誰にもありません。もし

干渉して与えられた寿命を自らの手で切り上げるようなことをすれば、それに対する代償を支払わされます。

読んでみてどう思われましたか？

何かおかしいと思いませんでしたか？

「大霊は摂理であり、その摂理は完べき」だと言っています。

そして「全ては大霊の法則の働きによって生じている」と言っています。

さらに「全存在に宿り全存在を通じて働いている神の意志によって支配されている」とまで言っています。

それなのにどうして「摂理の働きに干渉」できるのでしょうか？

「摂理の働きに干渉」できる理由として挙げられそうなものに「自由意志を行使」することが考えられます。

では「自由意志を行使」して「摂理の働きに干渉」と仮定しましょう。

自殺を考え、実行した場合にそれは「自由意志を行使できる範囲」内でもたらされた考えであり、そこから生じた行動と言えますよね。

そうすると「自由意志を行使できる範囲」を与えているのは大霊（＝神）ですから、大霊（＝神）の摂理が自殺を考えさせ、実行させたのではないのか？という疑問が出てくるのです。

シルバーバーチはこうも言っています。

「摂理に関わりなく生じるものは何一つありません。」と。

これにより自殺という行為が大霊（＝神）の摂理によって生じているという結論が導き出されるわけです。

「自殺のどこが悪い。摂理に従っているのだから、それにより罰せられるほうがおかしい。」

そう主張できるのではないのでしょうか？

私に言わせれば、シルバーバーチの霊訓は自殺をしてもよい根拠になっても自殺をしてはいけない根拠にはなりません。

このような胡散臭いものを全て読む気にはならなかったのも、ひょっとしたら上記の矛盾点を解消するような論理展開があるのかもしれない。

下記のサイトで全文が読めますので、気になる方は参照なさってください。

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~spbook/index.htm>

さいごに

以前、Yahoo! JAPAN知恵袋で何故自殺をしてはいけないのかということについて質問をしたことがあります。（下記参照）

http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12144313607

読んでいただければわかりますが、自殺がダメだという論理的な回答は得られませんでした。

これまで述べてきたように感情的な自殺の否定はあれども、論理的に自殺を否定することなどできないのです。

だからこそ、改めて私は主張します。

自殺して何が悪い